

21日

## 目指せ志望校合格！ 厚南中学校で約75人が合格祈願の餅つき

厚南中学校（細野輝彦校長）で全校生徒と保護者、先生らによる「合格祈願餅つき」が行われました。この行事は、受験を控えた3年生のために同校のPTA研修委員が主体となり、6年前から行われているものです。参加者たちは、合格への思いを込め、合計25kgのもち米を交代しながらついていました。

つき上がった餅は、あんやきな粉、大根おろしなどで味わっていました。



気合を入れて餅つき！

22日

## 氷点下17度の冬に地震が発生したら！ 豊川自主防災組織が避難所に一泊体験

豊川自主防災組織（下川原一雄代表）が豊川生活会館で厳冬の避難所生活を想定した避難所一泊体験を実施し、15人が参加しました。

この体験会は3回目の開催で、今年は小学生や地域防災マスターが参加。地震が発生し、水道や電気等のライフラインが使用できない状況を想定して行われました。

この日の外気温は氷点下17度、室温氷点下3度で参加者はダンボールや寝袋で寒さ対策したり、簡易トイレを使うなど防災について理解を深めていました。



ダンボールやカイロを使い寒さ対策

23日

## 高橋康夫さん・眞理子さん夫婦（本郷） が市民後見人養成講座を修了

高橋康夫さん（本郷・65歳）と奥様の眞理子さん（65歳）が市民後見人養成講座を受講し、宮坂町長から修了証が手渡されました。

市民後見人は、認知症の高齢者など自分の意志で判断ができない人に代わって財産の管理など行う人のこと。康夫さんは「財産だけではなく、その人の生き方をきちんと見て生活を支援する方が大きいと気付きました」と感想を話していました。



講座で学んだことを町長に報告

24日

## 厚真スピードスケート少年団の 4選手が輝かしい成績を収める

1月14・15日に釧路市で開催された「第3回全日本ノービススピードスケート競技大会」と同月21・22日に同市で開催された「第39回北海道スポーツ少年団スピードスケート競技大会」で、厚真スピードスケート少年団所属の4人が入賞し、指導者の長橋政徳さんとともに役場を訪れ、宮坂町長に報告を行いました。

全日本競技大会の1,500Mで自己ベストタイムを上回る記録で3位に入賞した赤間朱樹さん（厚真中1年）は「1回だけでなく何回でもこのタイムが出せるようになりたい」と大会を振り返っていました。



右から大捕匠翔くん（厚南中2年）、尾谷琴音さん（厚真中2年）、赤間朱樹さん（厚真中1年）、尾谷駿文くん（中央小5年）

6日

## 火災ゼロのまちに 厚真消防出初式

胆振東部消防組合・厚真消防団・消防署厚真支署の合同出初式が、総合福祉センターで行われました。

屋内での式典に先駆け、胆振東部消防組合管理者の宮坂町長や来賓、地域住民などが見守る中、72人の職団員と車両7台が厚真市街地を分列行進しました。

行進後、総合福祉センターに場所を移し、職団員は宮坂町長や来賓などの視閲を受け、同団第1分団の森田正樹班長と金澤兄妹による太鼓演奏で、災害のない町を祈願しました。



厚真市街地を行進する職団員ら

10日

## 新年の幕開けを祝い6団体新年交礼会

町議会、JAとまこまい広域農協、土地改良区、農業委員会、苫小牧広域森林組合、商工会の6団体主催の新年交礼会が、総合福祉センターで開かれ、町や町議会、町内企業関係者など150人が出席しました。

世話団体を代表して寺坂文秀商工会長が「地域の活性化実現には地域住民や町、商工会、JAなど地域のさまざまな関係機関と情報を共有し、広範囲に連携していかなければならないと考えています」とあいさつし、新年の幕開けを盛大に祝いました。



各団体等の代表者らによる鏡抜き

11日

## 交通事故のないまちを願い 交通安全祈願祭

町交通安全協会（池川義厚会長）による交通安全祈願祭が、厚真神社で行われ、同協会会員や町交通安全推進委員会、各団体・事業所、自治会などから約30人が参列し、交通事故のない町を願い玉串を捧げました。

祈願後、大浦眞則副会長が「全国的に高齢者の事故が増えているので、皆さんにやさしい運転をお願いします」とあいさつを述べていました。



交通事故ゼロを願い玉串を捧げる参列者

21日

## 海難事故防止へ決意を新たに 浜厚真救難所出初式

日本水難救済会浜厚真救難所（木戸嘉則所長）の出初式が、鶴川漁協厚真支所前で行われました。式では、所員らが屋外に整列し、出席者による視閲や同救難所監督官の宮坂町長による訓示が行われた後、木戸所長が「有事の際には初期目的の達成のための救助活動にまい進する所存です」と答辞を述べ、所員らは決意を新たにしていました。



決意を新たにす所員たち